

ピアノコンサート

～大田黒元雄のサロン100年記念～



大田黒公園のピアノについて

日時：平成27年11月3日（火・祝）
15：00～16：30

場所：大田黒公園

大田黒元雄氏が所蔵していたスタインウェイ社製のピアノで1900年にドイツで作られました。2010年に区民有志の募金活動により、大規模な修復を行うことができました。

豊かな深い低音と柔らかな旋律が特徴です。

プログラム

エドヴァルド・グリーグ 春に寄す／エレジー

エドワード・マクダウェル（1861～1908）

『森のスケッチ』作品51より

のぼらに寄す／懐かしき思い出の場所で／秋に／

睡蓮の花に寄す

『海の小品』より

「漂う氷山から」「歌」「おうむ貝」

「大洋のただ中で」

*

シ ril・スコット（1879～1970）

『詩曲』より「魂の響きあう庭にて」「鐘」

『エジプト』より「舟歌」

クロード・ドビュッシー（1862～1918）

月の光

『子供の領分』より

小さな羊飼ひ／ゴリウォーグのケーキウォーク

『前奏曲集第1巻』より

亜麻色の髪の乙女／沈める寺／ミンストレル

日本のクラシック界の草分け、大田黒元雄（1893～1979）は100年前の1915年12月18日、大森山王のサロンで「ピアノの夕べ」と題したコンサートを開催し、ドビュッシーの作品を自ら演奏しています。サロンはその後、1916年12月まで、ほぼ1月ごとに開催され、ドイツ音楽主流の当時きわめて珍しかったフランス音楽をはじめロシア、北欧、アメリカ、イギリスの音楽が紹介されました。

出席者はのちの音楽評論家野村光一、音楽之友会創業者にして作詞家の堀内敬三、のちの作曲家菅原明朗などで、プログラムはパリに渡った版画家長谷川潔が装丁しました。

ここでは、大田黒元雄が所有していたピアノで、実際にサロンで演奏された作品の一部を再現致します。

演奏者 Piano

青柳 いづみこ（ピアニスト・文筆家）



杉並区在住。自宅は井伏鱒二を中心とする文芸サロン「阿佐ヶ谷会」の会場。祖父青柳瑞穂は大田黒元雄とも親交があった。フランス国立マルセイユ音楽院首席卒業。東京芸術大学大学院博士課程修了。平成2年度文化庁芸術祭賞。演奏と執筆を両立させる希有な存在として注目を集めておりCD及び著書で数多くの賞を受賞。近著は『アンリ・バルダ 神秘のピアニスト』（白水社）。CDにデュオ・アルバム「ミンストレル」（キングインターナショナル）、監修CDアルバム「眠れぬ夜に ミステリー・クラシック」（エイベックス）など。日本ショパン協会理事。日本ピアノ教育連盟中央運営委員。日本演奏連盟及び日本文芸家協会会員。大阪音楽大学教授、神戸女学院大学講師。 <http://ondine-i.net>